

プレスリリース

2025年7月17日
国境なき医師団 (MSF)

エチオピア・ティグレ州：3人のスタッフ殺害に関する内部調査結果を発表——銃撃は意図的と結論

国境なき医師団 (MSF) は、2021年6月24日にエチオピアのティグレ州中部で起きた、3人のMSFスタッフの残虐な殺害に関する[内部調査報告書](#)を発表した。

殺害されたのは、スペイン出身のマリア・エルナンデス・マタス、エチオピア出身のテドロス・ゲブレマリアム・ゲブレミカエル、ヨハネス・ハレフオム・レダの3人。調査では、この事件は明らかに人道援助スタッフだとわかる3人を標的にした意図的な殺害であることが確認された。また、事件当時、エチオピア国防軍の車列が、3人が殺害されたのと同じ道路を走っていたことも確認された。

MSFは、エチオピア政府に調査の実施と公表を求めるとともに、各国政府に人道援助従事者の保護と、攻撃が行われた際の責任の追及を求める。

明らかに意図的な殺害

マリア、テドロス、ヨハネスの3人は、紛争下のティグレ州で医療援助に従事していた。2021年6月24日、3人は戦闘で負傷した患者を搬送するため、MSFの車両でティグレ中央部のアビ・アディ町近郊の村に向かっていた。その移動の途中、車が止められ、3人は殺された。

MSFは、同地で展開するエチオピア国防軍とティグレ人民解放戦線 (TPLF) の両勢力との対話を試み続けてきたが、4年たった今も、3人に何が起こったのかについて確固たる回答を得られていない。

MSFスペインのパウラ・ヒル会長は話す。

「エチオピア当局は、調査を進めていると繰り返し述べてきたにもかかわらず、4年経った今も、MSFにも被害者家族にも、信頼に足る回答を出していません。調査結果を公表するという政治的な意志が足りないと考えざるを得ません。

公式な説明がされないとしても、MSFはスタッフや遺族に対して、独自の調査結果を公表する道義的な義務があります。看過できない残忍な殺人に光を当てるために必要な一歩です」

MSFでは、患者やスタッフの安全に関わる重大な事件が発生した際には、必ず内部調査を行う。今回も事件直後に調査を開始。その結果、MSFチームへの襲撃は意図的で標的を絞ったものであるという証拠が確認された。3人はMSFのロゴがはっきりと分かる白いベストを着用し、MSFのロゴと旗が見える車両



で移動していた。彼らは正面から、至近距離で複数回銃で撃たれていた。遺体は車から 400 メートル離れた場所で発見され、車体は燃やされ、銃弾が飛び散っていた。

「銃撃戦に巻き込まれたのでもなく、悲劇的な誤射でもありません。私たちの同僚は、意図的としか言いようのない銃撃で殺されたのです」

エチオピア国防軍に関する目撃証言も

銃撃が起きた日にエチオピア国防軍の大規模な退却車列が殺害現場と同じ区間を南下していたことも、今回の調査によって明らかになった。このことは、報道や衛星画像など、一般に公開されている複数の情報源だけでなく、複数の民間人の目撃証言が裏付けている。

エチオピア国防軍が現地にいたことは確認されたが、攻撃への関与の程度やその内容については、まだ明らかになっていない。MSF は、エチオピア国防軍の車列と共に移動していた民間人らから、エチオピア国防軍兵士が襲撃に直接関与しているという、懸念すべき目撃証言を得ている。ある目撃者は、エチオピア国防軍の司令官が、近づいてくる白い車を「撃て」「排除しろ」と命令する無線のやりとりを耳にしたと話した。

2021 年以降、MSF は信頼できる透明性の高い調査の実施と調査結果の公開を求め、エチオピア政府高官と 20 回以上の会合を開くとともに、多くの正式な要請書を提出してきた。

「過去 4 年間、私たちはエチオピア当局と建設的な関係を築くために全力を尽くしてきました。2021 年 11 月から 2023 年 10 月にかけて、MSF の内部調査結果を、補助資料とともにエチオピア法務省に数回にわたって共有したこともその一端です。

MSF の調査報告書は、この事件の事実関係を明らかにすることが当時も今も可能であることを示しています。襲撃時にエチオピア国防軍が現場にいたという裏付けある情報も存在する中で、エチオピア当局が信頼できる調査を完了せず、その結果を公表していないことは、到底容認できるものではありません」とヒルは話す。

人道援助従事者が安全に活動できる環境を

MSF がこの内部調査を公表するのは、道義的義務からだけではない。人道援助従事者や医療施設を保護し、それらを攻撃した者の責任を問うよう、各国政府に求めるためでもある。人道援助従事者に対する攻撃は世界的に増加傾向にある。その一方で、国際人道法違反の調査・訴追義務を怠る国が増え、国際社会は目をそらし続けている。

マリア、テドロス、ヨハネスの残忍な殺害は、人道援助従事者が直面する危険を象徴する事件だ。この

ような言語道断な行為に対して調査が行われなければ、エチオピアで危険な前例を作ることになり、世界的にも医療への攻撃が処罰されないという深刻な傾向を強めることになる。

ヒルはこう話す。

「マリア、テドロス、ヨハネスは、危機にさらされた人びとを助ける中で命を落としました。彼ら3人のことを毎日思っています。3人の殺害が忘れ去られたり、黙殺されたりしてはなりません。MSFは、犠牲となった職員たちに何が起きたのかを明らかにすることで、エチオピアだけでなく世界中の紛争地で人道援助従事者がより安全に活動できる環境づくりに貢献したいと考えています」

以上

本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘 俊平、高橋哲子

携帯：090-5401-5176

E-mail: press@tokyo.msf.org <https://www.msf.or.jp>

メディア向け X (旧ツイッター) アカウント：@MSFJ_Press